

茅葺き屋根の里 水引集落



集落西からの眺め

access MAP

東京圏から
電車＋路線バスで湯ノ花温泉
湯ノ花温泉から2 km



お問い合わせ

南会津町観光協会館岩支部
〒967-0304 福島県南会津郡南会津町松戸原55番地
TEL 0241-78-2546 FAX 0241-78-3274
<http://www.tateiwa-tic.jp/>

南会津町館岩総合支所 振興課

〒967-0304 福島県南会津郡南会津町松戸原50番地
TEL 0241-78-3330 FAX 0241-78-3008

福島県南会津町

山里に静かに佇む 水引の中門造(曲屋)

水引に残る茅葺き民家はし字
形に折れ曲がっています。集
落周辺の館岩地域では「曲屋」
と呼んでいますが、民家の分
類上は出入り口の位置の違い
から、岩手などの「曲屋」と区
別して、秋田、山形、新潟、
福島各県の深雪地帯に分布す
る「中門造」という形式です。
明治二十九年の大火後に越後大
工によって建てられ、かつて
はどの家にも家の中に馬が飼
われていました。「まじき」
「うわえん」は、普段はあまり
使われることはなく、日常の
生活は「したえん」、「どま」周
りを中心に営まれていました。



復原平面図



晩秋の茅刈り

毎年、十月最後の土、日曜
日に「茅刈りツアー」を開
催し、外部からの参加者と
集落の者が一緒になって茅
屋根の差し茅に使うススキ
を刈ります。



民間伝承芸能

水引十人芸

水引には不思議で、
おかしな伝承芸能
が残っています。
「カンカラカント
カンマエタ」とい
うお囃子にのって
十人がそれぞれの
振りで踊ります。
伝承の経路ははっ
きりしませんが、
青森県の浅虫温泉
にも同様の民謡が
残っており、山仕
事の人たちの酒席
での余興が芸能化
したものとわれ
ています。



水引散策まっぴ

→ : 散策順路



山神社の鳥居と、その脇の清水場



集落には7軒の茅葺き民家が残っています



冬には2mを超える雪に覆われます

四季折々 懐かしい山村風景

水引は福島県の南西、尾瀬国立公園田代山登山口への入口の標高800mにある集落で、南北に走る県道を南に下ると日光市に出ます。集落を通る道はかつて“枯木越え”といわれ、江戸時代前期の会津風土記に“馬不通”とあります。集落の起源には、良好な湧き水に魅せられた猟師が定住を始めたとする説があり、現在も山神社の脇に美味しい清水がこんこんと湧き出ています。明治19年と29年に集落の全戸が消失する大火に遭いましたが、古くからの道に沿って大火の後に再建された7軒の茅葺き民家が今も残っています。集落は森と水に囲まれ、四季折々の山村の風物を楽しんでいただくことができます。